NEWS RELEASE

2026 年 11 月 9 日

各 位

森村 SOFC テクノロジー株式会社

韓国サムスン重工業と SOFC システムの開発および将来的な商業化に向けた協業に合意
～2028 年の陸上・洋上データセンターおよび船舶向けシステム販売を目指す～

森村SOFCテクノロジー株式会社（社長：佐藤 美邦、本社：愛知県小牧市、以下「森村SOFCテクノロジー」）は、韓国の造船大手であるサムスン重工業（Samsung Heavy Industries Co., Ltd.、CEO：Sung-an Choi、本社：大韓民国 京畿道 城南市、以下「サムスン重工業」）と、2026年11月9日付で、陸上・洋上データセンターおよび船舶向け固体酸化物形燃料電池（SOFC：Solid Oxide Fuel Cell）システムの開発および将来的な商業化に向けた協業に関する覚書（MOU）を締結いたしましたのでお知らせいたします。

両社は本パートナーシップに基づき、相互の強みを活かした技術開発を進め、グローバル市場におけるクリーンエネルギーソリューションの創出を目指します。



（左から）サムスン重工業 Kyung Hee Kim 副社長、森村 SOFC テクノロジー 佐藤美邦社長による調印式の様子

●本連携の背景と目的

近年、AI 技術の普及やクラウド需要の急増に伴いデータセンターの電力消費量が急拡大しており、環境負荷低減と安定的な電力確保が世界的な課題となっています。こうした中、陸上データセンターに加えて、洋上に構築するフローティングデータセンター※など多様な形態のデータセンター等において、高効率な分散型電源や脱炭素エネルギーの導入に対する需要が高まっています。

サムスン重工業は、自社の技術とグローバルな事業ネットワークを活かし、データセンター全般の脱炭素化を推進しています。同社はデータセンターおよび船舶向け SOFC システム用の電源として、森村 SOFC テクノロジーが誇る高効率な SOFC セルスタックの採用を決定いたしました。

森村 SOFC テクノロジーは、高精度なセラミック技術をベースとした高効率かつ信頼性の高い SOFC スタックの供給を通じて、サムスン重工業の推進する次世代エネルギーシステムの開発を強固に支援してまいります。

※フローティングデータセンター：

急増する AI コンピューティングインフラの需要に対応するために設計された、水上または洋上に設置するデータセンターモデル。陸上ではなく川や海に設置されるフローティングデータセンターは、電力供給の制約、放熱、用地の確保といった陸上データセンターが直面している課題の解決に役立つと期待されている。

●覚書（MOU）の主な合意内容

項目	内容
目的	両社が持つ造船・海洋分野のネットワークや SOFC セルスタックに関する技術と知見を相互に活用し、将来の商用化に向けた協業機会を検討、協議する
対象分野	陸上・洋上データセンターおよび船舶向け SOFC システム
役割分担	サムスン重工業：ホットモジュールおよび SOFC システムの構築・エンジニアリング・システム統合、建造ならびに事業化展開 森村 SOFC テクノロジー：SOFC セルスタックの供給および関連技術・ノウハウの提供

●今後の展開

両社は今後、将来的な数百 kW～数十 MW クラスの大規模システム展開に向けた技術実証・市場開拓を進め、2028 年からのシステム販売を目指していきます。

森村 SOFC テクノロジーは、本開発を通じてグローバル市場におけるサプライチェーンと顧客基盤を確立し、持続可能な社会の実現と脱炭素エネルギー社会の発展に貢献してまいります。

各社概要

会社名	**サムスン重工業（Samsung Heavy Industries Co., Ltd.）**
本社所在地	大韓民国 京畿道 城南市
主な事業内容	造船・海洋プラント建造、海洋エネルギーシステム開発
本件における役割	ホットモジュール/システム統合、データセンターおよび船舶への実装・商用化

会社名	**森村 SOFC テクノロジー株式会社**
本社所在地	愛知県小牧市岩崎 2808
主な事業内容	固体酸化物形燃料電池（SOFC）のセルスタックおよび関連製品の開発・製造・販売
本件における役割	SOFC セルスタックの供給・技術連携

■お問い合わせ先
森村 SOFC テクノロジー(株)　管理部　hid-ishikawa@m-sofctec.com
日本特殊陶業(株)　広報部　ml.cc-pr-team.jp@niterragroup.com

以上